



IXIL ラフィス クローゼット両開き戸 ライン枠 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



- 本体が脱落するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・丁番カップ・丁番座をガタツキないように固定してください。
- ・丁番を枠に「カチャツ」と音がするまではめ込んでください。

保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるため、開梱時に検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすため、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するため貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれとなるため、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。
- 本体が天井高で納まるため、搬入時天井等の損傷に注意してください。

■部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

本体	3方枠
●クローゼット本体	●上枠
	●縦枠(2本)
	●位置出し定規(2本)

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	丁番カップ・丁番座をガタツキないように固定しましたか？	<input type="checkbox"/>
2	丁番を枠に「カチャツ」と音がするまではめ込みましたか？	<input type="checkbox"/>



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品の明細

■枠部品セット

部品名称	枠組立て用 皿小ねじ M4×50	プッシュボタン	上枠・縦枠取付け用 DNビス φ3.8×65
個数	4	16	16

■丁番部品セット(別売り)

部品名称	丁番座	丁番カップ	丁番取付け用 皿タッピンねじ φ4×16	戸当り (クリア パンポン)
H寸法				
524 ≤ H ≤ 1178 (H09, H12)	4	4	16	2
1178 < H < 1823	6	6	24	2
1823 ≤ H ≤ 2500 (H18, H20, H24)	8	8	32	2

■把手セット(別売り)

部品名称	把手	把手取付け用 トラス小ねじ M4×35
個数	1	2

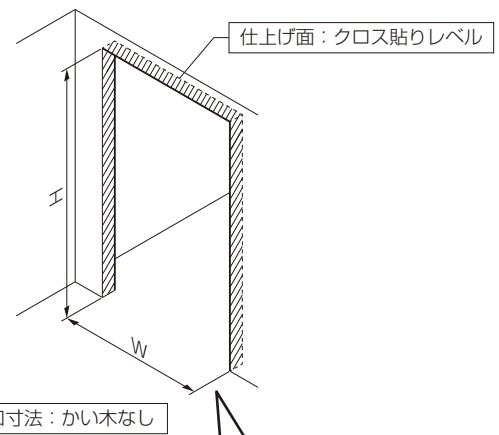
■ソフトモーション(別売り)

部品名称	ソフトモーション
2個入り	2

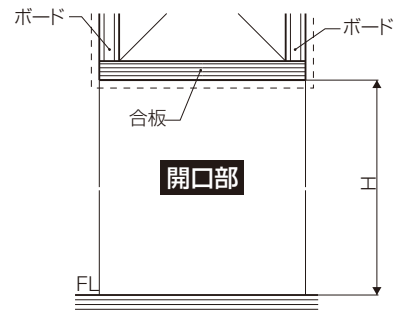
1 開口部の作り方

開口施工上のお願い

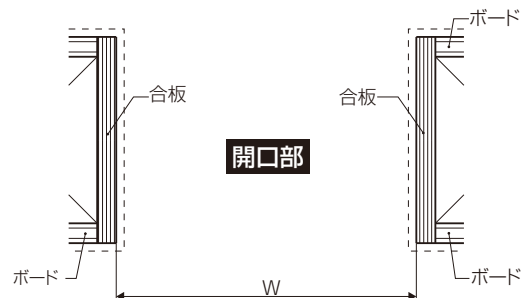
- 製品不具合となるため、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 枠と壁のすき間が不均一になるため、仕上げ面を以下で施工してください。
 - ・下地処理をクロス貼りできるレベルにしてください。
 - ・開口を枠WH寸法に合わせてください。
 - ・水平垂直に仕上げてください。
- 【軽量鉄骨に施工する場合】
- 施工不良となるため、必ず木枠を入れてください。



●縦断面図



●横断面図



2 縦枠への取付け

▲ 注意

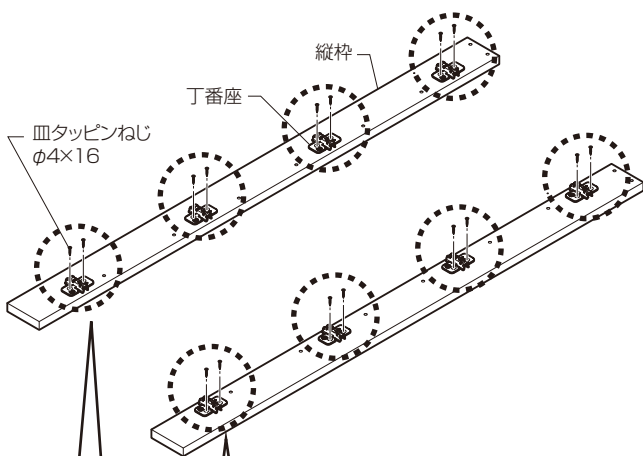


- 丁番座をガタツキないように固定してください。本体が脱落するおそれがあります。

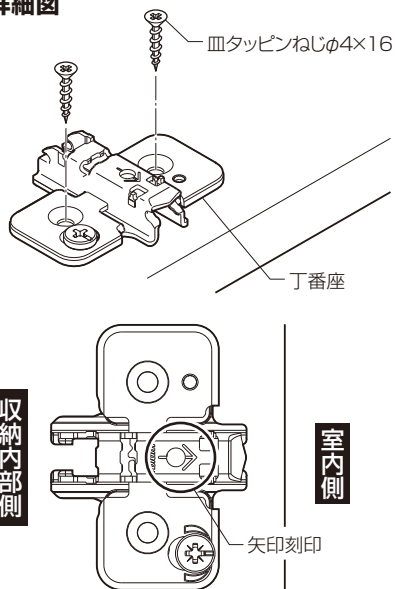
- ① 縦枠に丁番座を同梱のねじで固定します。
取付けの際は丁番座の向きに注意してください。

扉1枚当たりの丁番个数

H寸法	丁番个数
524 ≤ H ≤ 1178	2個
1178 < H < 1823	3個
1823 ≤ H ≤ 2500	4個



● 丁番詳細図



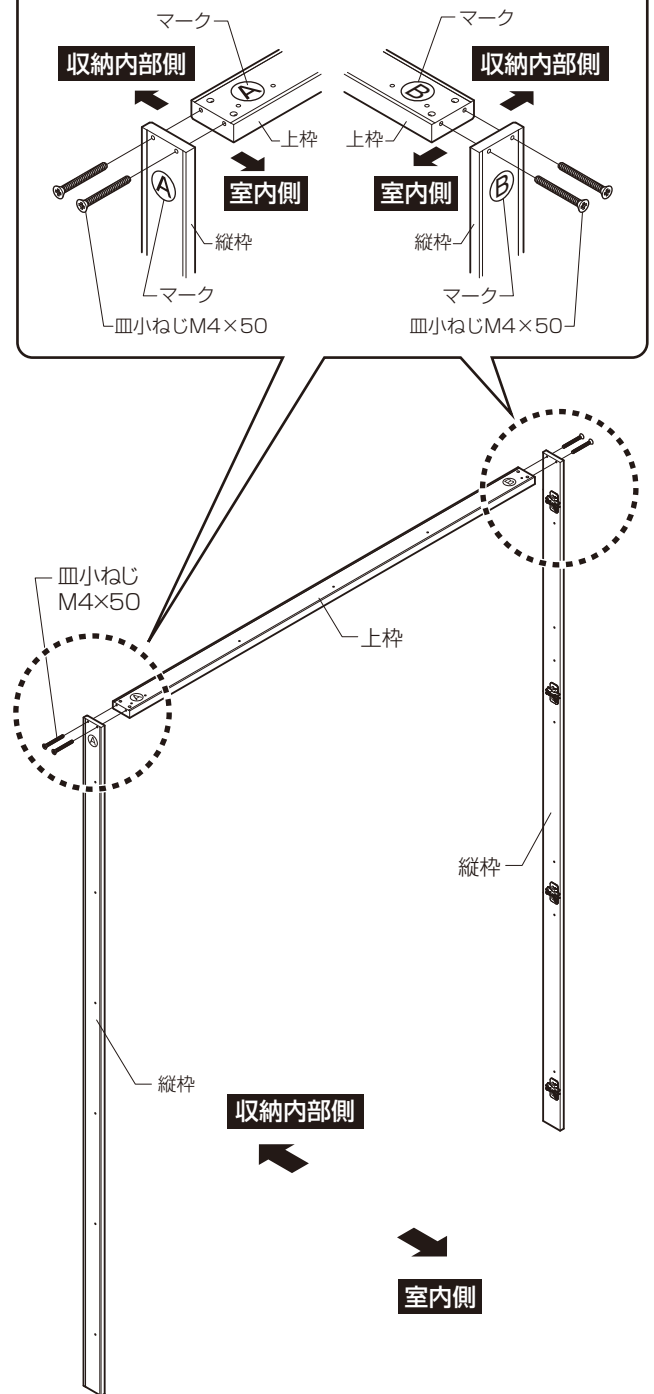
3 枠の組立て

枠組立て上のお願い

- 枠の垂れ下がり・ゆがみとなるため、同梱のねじで施工してください。
- 本体が吊込めなくなるため、縦枠下端はカットせず床上に施工してください。

- ① 下図のように同梱のねじで枠を組立ててください。

● 組立て部詳細図

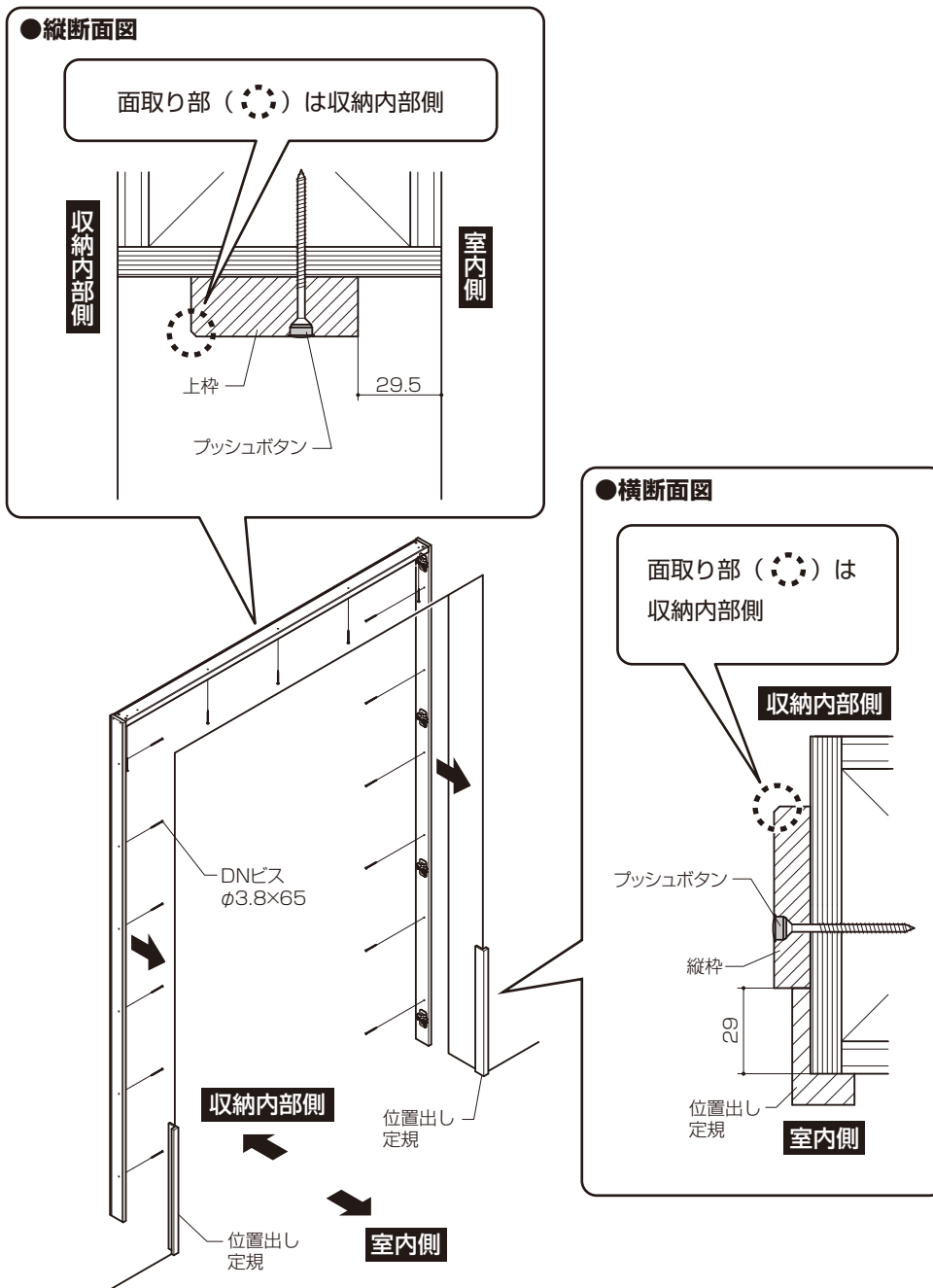


4 枠の取付け

枠取付け上のお願ひ

- 開閉不良になるため、同梱の指定ねじを使用してください。
- コンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 枠は水平垂直に取付けしてください。
- 正しい納まりにするため、位置出し定規を使って取付けてください。
- 施工不良となるため、正しい向きで取付けてください。

- ①位置出し定規をかくし釘・ねじなど(現場手配)を使用して、開口部に仮止めします。
※位置出し定規は、枠の取付け後に取外します。
- ②組立てた枠を開口部に入れて、位置出し定規に突き当てます。
- ③組立てた枠の位置を確認し、上枠・縦枠を開口部に固定します。
- ④枠を固定した後に位置出し定規を取外してください。



5 丁番カップの取付け

▲ 注意



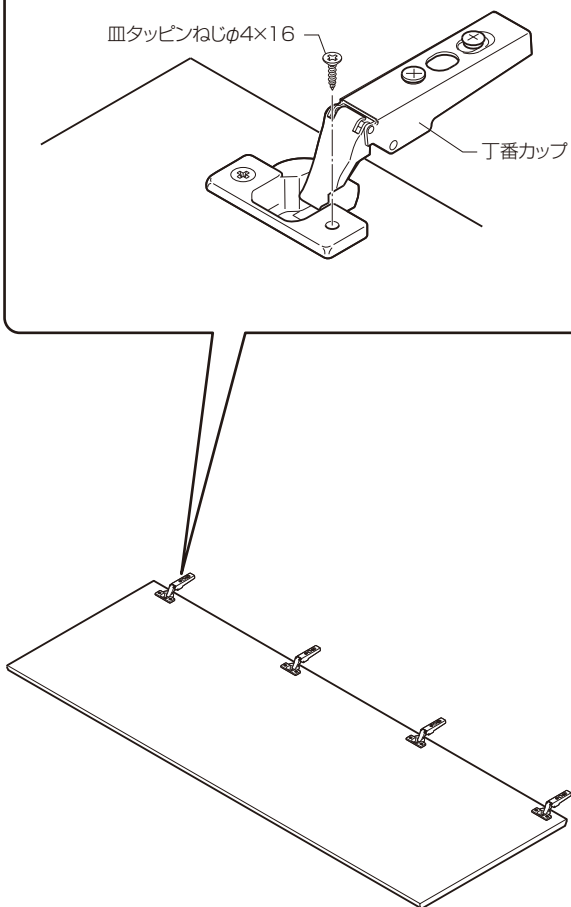
- 丁番カップをガタツキないように固定してください。本体が脱落するおそれがあります。

丁番カップ取付け上のお願ひ

- 本体が吊込みできなくなるため、取付けねじを斜めにせずしっかり固定してください。

① 丁番カップを、同梱のねじで本体に取付けてください。

● 丁番カップ詳細図



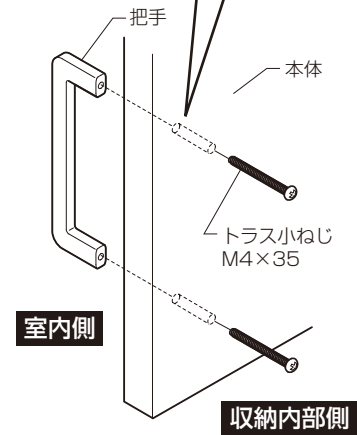
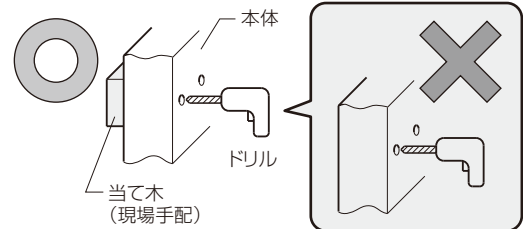
6 把手の取付け

把手取付け上のお願ひ

- 表面が破損するため、把手穴加工は当て木をしてください。

- ① 把手を取付ける側の下穴を貫通(φ4.5)してください。
- ② 把手を同梱のねじで取付けます。

● 把手取付け加工



■ 把手レスデザインの場合

※ 把手の取付けはありません。

7 本体の吊込み

▲ 注意

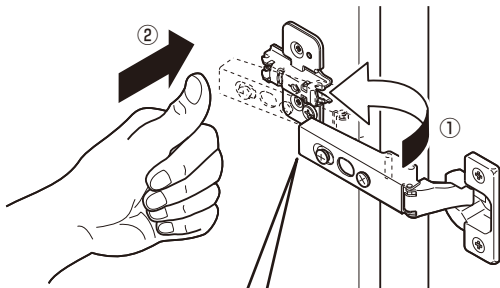


- 丁番を枠に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体が脱落するおそれがあります。

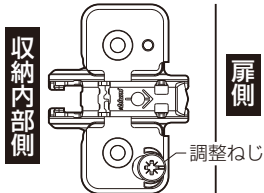
本体吊込み上のお願ひ

- 本体の吊込みするため、以下を守ってください。
 - ・ 丁番の取付順は、中央→上下端部順に取付けしてください。
 - ・ 丁番を2個以上取付けるまで、本体を保持してください。
- 鏡面本体は傷防止のため、表面保護シートは吊込み後はがしてください。

- ① 座の前面に丁番カップをひっかけます。
 - ② 丁番カップの後ろ側に丁番座をはめ込みます。
- ※ はめ込みにくい場合、丁番座の高さに調整してください。
- ③ 吊込み後、3回程度開閉を行い問題ないか確認してください。

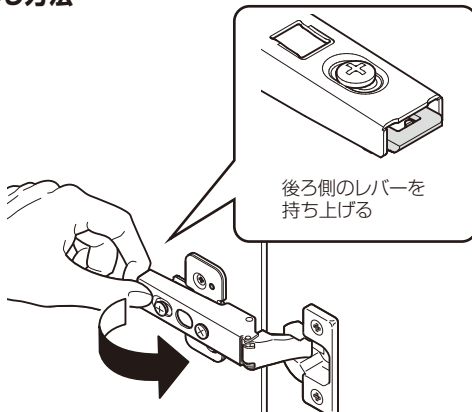


● 吊込みしにくい場合



丁番座を上下調整してください。

■ 取外し方法

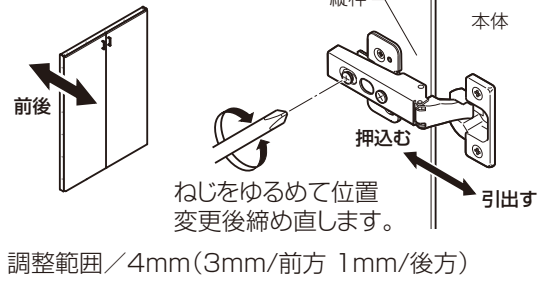


8 本体の調整

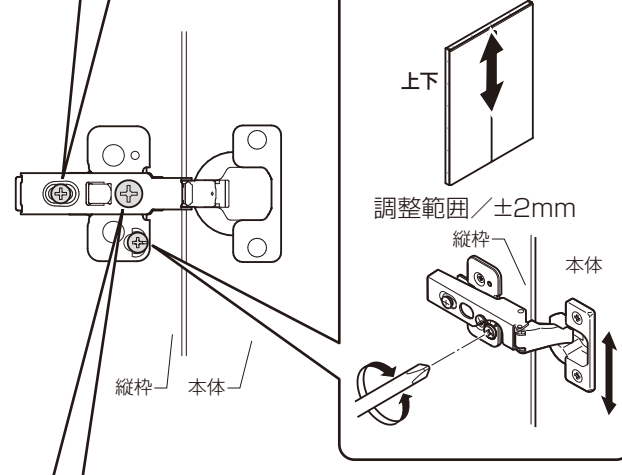
本体調整上のお願ひ

- 開閉不良となるため、本体同士が干渉する場合、丁番調整を行ってください。
- 入隅納まりで壁と扉が干渉した場合は、丁番調整を行ってください。

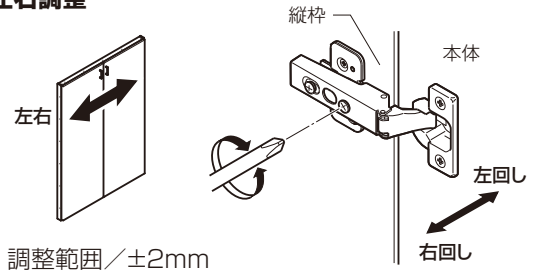
● 前後調整



● 上下調整



● 左右調整



クローゼット
開き戸建付け
調整方法動画

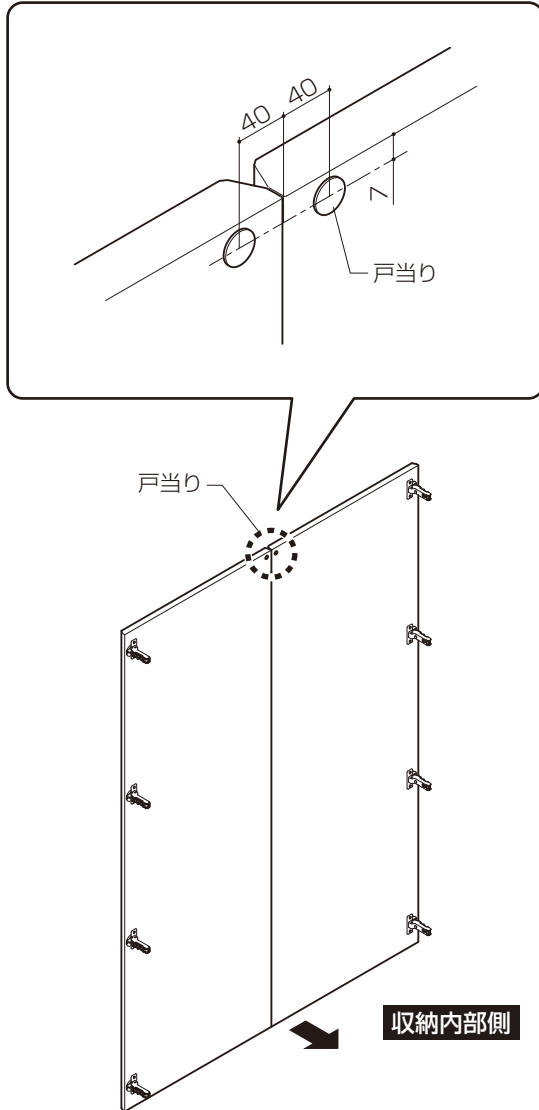


9 戸当りの取付け

戸当り取付け上のお願

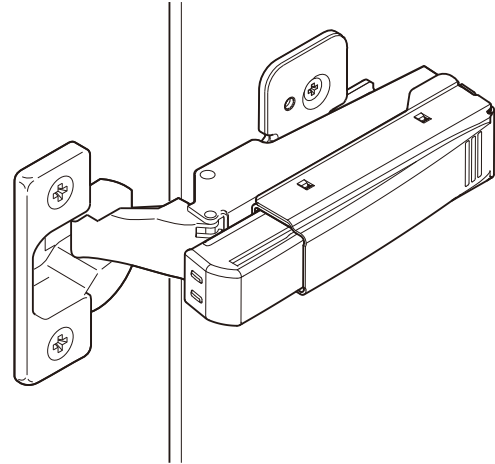
- 損傷防止のため、本体が上枠に当たる所に戸当たりを張付けてください。

① 戸当りを本体上部に張付けてください。



10 ソフトモーションの取付け

取付け手順はソフトモーション(別売り)同梱の説明書を確認してください。



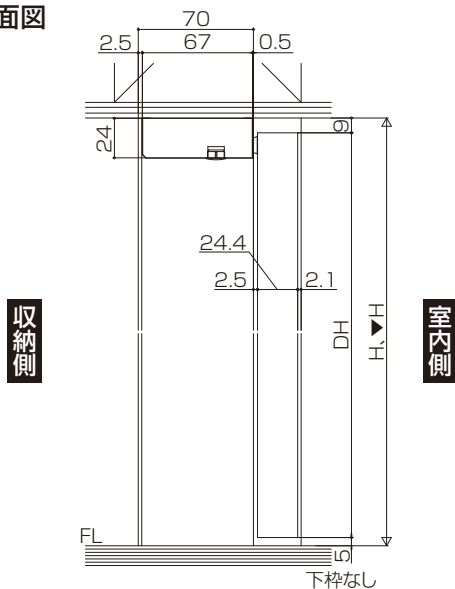
困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



■納まり図

●縦断面図



基本寸法 (mm)	W呼称	07	08M	12		
	W (DW)	734 (358.5)	824 (403.5)	1188 (585.5)	20	24
H呼称	H	09	12	18	2023	2400
	(DH)	878 (864)	1178 (1164)	1823 (1809)	(2009)	(2386)

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法(mm)	
	ソフトモーションあり	ソフトモーションなし
07(734)	622	640
08M(824)	712	730
12(1188)	1076	1094

ソフトモーションあり
算出式: A寸法=W-112
ソフトモーションなし
算出式: A寸法=W-94

●横断面図

